

報道関係各位

岩手県立大学 ソフトウェア情報学部

**ソフトウェア情報学部2年生全員（171名）で初めて
滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークで誘致企業の解説・見学を行う授業の実施**

岩手県立大学ソフトウェア情報学部では、従来より「キャリア教育科目」として2年生の必修科目「キャリアデザインⅠ」を開講しています。今年度は、現在推進している「企業学群」構想※とこの科目を融合させ、大学に隣接している滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークに入居している企業の講義、現地での解説・見学を5回に分けて行うこととしました。開学以来、同学部のひとつの学年全員でこのような大規模なフィールドワークを行うことは初めてとなります。

※企業学群構想：本学の鈴木厚人学長の発案によるもので、滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークに参画されている企業を、岩手県立大学の学部・研究科と同等の「企業学群」と捉えて、企業や大学の相互依存関係を促進する地理的な近さのメリットである情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような集積拠点を実現しようとするもの。これにより、産学官連携による事業共創やイノベーション創出、人材育成を目指す。

記

1 日時

令和6年6月4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)、7月2日(火)
それぞれ12:50~14:30

2 会場

岩手県立大学講堂、滝沢市 IPU イノベーションセンター・パーク内の各企業
(取材の際は12:50までに本学講堂前にお越しください)

3 対象者

岩手県立大学ソフトウェア情報学部2年生全員（171名）

4 内容

171名を1グループ30名強の5グループに分け、1つは滝沢市 IPU イノベーションセンターで入居企業の解説・見学、1つは滝沢市 IPU イノベーションパークで各企業の解説・見学、残り3つは本学講堂で企業担当者からの講義を受けます。これをローテーションして5回の行うことですべての学生が大学に隣接する誘致企業にて体験型の学修を行うものです。

5 備考

別紙資料もご参考ください

【問合せ先】岩手県立大学ソフトウェア情報学部 南野 TEL: 019 - 694 - 2564



別紙資料

・岩手県立大学ソフトウェア情報学部「キャリアデザイン I」シラバス

講義科目名称： **キャリアデザイン I** 授業コード： **0310572**
 英文科目名称： **Career Design I**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1.0	必修科目
担当教員			
富澤浩樹, 南野謙一, 高瀬和実			
ソフトウェア情報学科		高等教育推進センター／学生支援本部	
添付ファイル			

正課学生以外の受講 (■:受講可) (□:受講不可)	正課学生以外の受講 <input type="checkbox"/> 他学部・他学科 <input type="checkbox"/> 4大・短大間 <input type="checkbox"/> いわてコンソ <input type="checkbox"/> 科目等履修等
-------------------------------	--

教育課程	ソフトウェア情報学部 専門科目 キャリア学習科目
授業形態	演習
資格対応	
授業のねらい・概要	キャリアデザインとは、自分自身の生き方と働き方を主体性をもって設計し、それを実行しながら人生を歩んでいくことに他ならない。本授業のねらいは、豊かな職業生活を築くためにリアリティを持ってキャリアを構想し、価値創造を通じて社会に貢献し、一生を通じて学び続けていく意識と能力を高めるための素地を身に付けることにある。そのために、本授業では、職業世界についての理解を深めることを通じて現在の自分自身の立ち位置をキャリアデザインの視点から考えることとともに、演習を通してキャリアデザインに必要な基礎力を高める。
キーワード(5つまで)	キャリアデザイン, 業種・職種理解, 基礎力養成, 自己概念形成
学習目標	1. キャリアデザインの視点から、現在の自分自身を捉えることができる。 2. 社会の情勢や動向を踏まえて、業種・職種を理解することができる。 3. 他者の価値観を参考にして、自分自身の価値観について考えることができる。 4. 学部での学修を、自分自身のキャリア形成の観点から捉えることができる。
授業の位置付け	関連するディプロマ・ポリシー: DP4, DP5
授業の計画	第01回: ガイダンス・オリエンテーション 第02回: 大学生のキャリアデザイン(1) 第03回: 大学生のキャリアデザイン(2) 第04回: 社会人基礎力・就業力・エンployアビリティ(1) 第05回: 社会人基礎力・就業力・エンployアビリティ(2) 第06回: 就業環境の理解(業界・職種・雇用形態) 第07回: 業界・職種研究(1) 第08回: 業界・職種研究(2) 第09回: 業界・職種研究(3) 第10回: 業界・職種研究(4) 第11回: 業界・職種研究(5) 第12回: キャリアデザイン演習(1) 第13回: キャリアデザイン演習(2) 第14回: キャリアデザイン演習(3) 第15回: キャリアデザイン演習(4)
教科書【学生が必ず準備するもの】	必要に応じて資料を配布する。
参考書等	大久保幸夫著: キャリアデザイン入門【I】基礎力編(第2版), 日本経済新聞出版社, 2016 村山昇著: 働き方の哲学, ディスカバー・トゥエンティワン, 2018
授業の形式	講義と演習, 外部講師による講演を組み合わせる。講義では、授業内容を理解するために必要な基礎知識等について解説する。演習では、与えられた課題に対して個人またはグループで取り組む。外部講師による講演等を通して、業界と職種及びキャリアデザインについての理解を深める。
成績評価の方法	成績は、提出課題(15%), キャリアデザイン演習の成果物(20%), 最終課題(60%), 受講姿勢(5%)を総合して判断する。ただし、提出課題、キャリアデザイン演習の成果物、最終課題の成績がそれぞれ6割以上であること、授業の80%以上を遅刻せずに出席していることが、単位取得の最低条件である。
授業前・授業後の学修	授業前には、予告された授業内容について調べておくこと。授業後は、授業時に不明だったことについて、信頼性のある情報源にあたって主体的に調べること。その際には、本学キャリアセンターや学部就職支援室、メディアセンターを積極的に利用すること。なお、授業回によって事前・事後課題が課されることがある。
履修にあたっての留意点	授業に遅刻・欠席をしないことはもちろん、やむを得ず遅刻・欠席する場合は事前に連絡を入れるなど、社会人としての自覚・自立を意識した行動を求める。本授業を効果的に履修し、自分自身のキャリア形成の素地とするためには、キャリアデザインの当事者性を認識するとともに、主体的な受講姿勢が不可欠である。また、社会の情勢や動向に関心を持つことが授業の学修効果をより高めることにつながるため、日ごろからニュースや時事に触れる等、知見を広げるための習慣を作ること。

今回の取り組みはここ

別紙資料

・企業学群について

企業学群の基盤組織 滝沢市・IPUイノベーションセンター・パーク企業、岩手県立大学



2009年開設



- 岩手県立大学地域連携棟：地域連携室、いわてものづくり・ソフトウェア情報融合テクノロジーセンター、地域政策研究センター
- 滝沢市第1、第2イノベーションセンター（貸しオフィス、会議室他）
- 滝沢市イノベーションパーク（企業誘致）



企業学群の設置目的

滝沢市IPU（岩手県立大学）イノベーションセンター/パークに参画する企業を、岩手県立大学の学部・研究科と同等の企業学群と捉えて、企業や大学の相互依存関係を促進する地理的な近さのメリットである**情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような集積拠点**を実現する。これによって、産学官連携による事業共創やイノベーション創出、人材育成を目指す。



➤ シリコンバレー創世記： 地域産業と大学の共進化

- ・ イノベーションや環境変化に素早く適応するには、企業や大学、研究機関の相互依存関係を促進するような柔軟な組織構造の方が高度に垂直統合が行われた自己完結型な組織、いわゆる大企業よりも好ましい
- ・ 地理的な近さ（産業集積）のメリットは、情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような社会構造によって補完されたときに実現する（**企業学群の着想**）

**滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークで
誘致企業の解説・見学を行う授業**

※誠にお手数ではございますが、ご協力いただく企業、滝沢市との事前の調整ができればスムーズであるため、取材ご希望日の前日 12:00 までに下記 F A X 番号またはメールにて取材予定につきご返信いただけましたら幸いです。当日飛び込みの取材を拒むものではありません。

FAX : 019-694-2501

Mail : soft_cd1_staff@ml.iwate-pu.ac.jp

取材希望日	<input type="checkbox"/> 6月4日(火) <input type="checkbox"/> 11日(火) <input type="checkbox"/> 18日(火) <input type="checkbox"/> 25日(火) <input type="checkbox"/> 7月2日(火)
貴社名	
貴紙・誌・番組名	
所属名	
ご芳名	他 _____ 名
ENG or スチール	ENG (台) ・ スチール (台)
TEL	
メールアドレス	
FAX	
取材に関する ご要望等	